

法寿苑だより

No.11 2010年1月15日



年頭の挨拶

新年明けましておめでとございます。

皆様におかれましては、健やかに輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

今の世の中、私たちは好むと好まざるとに関わらず、何かと慌ただしい毎日を送らされています。介護業界においても心身疲労によりメンタル障害の多発が顕著になっています。日々の生活に流され、ストレスが蓄積され、心を休める暇がなくなっているのではないのでしょうか。そんな時ほど一度立ち止まり、己を顧みる時間を作りたいものです。

『脚下照顧』。寺院の玄関や料理店の入り口などでこの文字を見かけたことはありませんか？ 玄関にあるので「履物を揃えなさい」とか、「段差に注意」といったように思われているかも知れません。ところが、この四字にはもつと深い意味があるのです。

『脚下』とは、まさに自分の足元のこと。自身の現状を指しているのです。それに『照顧』を加えれば…。もうおわかりですよ。要するに「自分を振り返って見なさい」という意味です。今、自分はどのような状況にあるのか？ どんな気持ちで過ごしているのか？ そうしたことを改めて見つめ直すことが、次にとるべき行動に何よりも大切であるという教えです。

高品質なサービスを提供していくには、その担い手である現場の介護職員をはじめとする全職員が施設理念の下、心をつちにして取り組んでいく必要があります。一人ひとりの職員が、いかに「やる気」や「モチベーション」を持続できるかによって大きく左右されます。昨年の介護報酬改定3%アップ、また介護職員処遇改善交付金等は、まさに介護現場の職員の処遇改善、職場の環境改善であり、職員のやる気を起こしサービスの質の向上につながる手段の一つであると思います。職員一人ひとりが安定して仕事を続けられる職場づくりをするともに、施設職員として今まで提供してきたサービスを『脚下照顧』し、地域の皆様に愛される施設づくりに努めていきたいと思っています。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして幸多き一年でありますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

施設長 山口卓哉

クリスマスに

サンタさんが

やってきました

十二月二十五日、苑にサンタさんがやってきました。

サンタさんは苑の二・三階をまわり、利用者一人ひとりの手をとり、やさしく話しかけられていました。各ユニットにはクリスマスケーキとドリンクのプレゼントがあり、おいしくいただきました。

サンタさんを見た利用者は拍手で迎えたり、サンタさんからドリンクをプレゼントされたりと、後にその出来事を笑顔で職員に報告していました。

ボランティアで来ていただいた川西様、加藤様ありがとうございました。

メリー・クリスマス！



法寿苑の思い出3ヶ月シリーズ

10月



- ・ 21番館は長尾町へ満開になったコスモス畑の見学に行きました。
- ・ デイサービスルームにて、獅子舞の慰問があり迫力ある踊りを見せていただきました。
- ・ 地域交流ルームにて、ドリームベル様が来られ一生懸命練習していました。



11月

- ・ 1階テラスでホクホクの焼き芋を作りました。
- ・ 23番館はみんなでアツアツのたこ焼を作りました。
- ・ 32番館ではしっぽくうどんを作りました。
- ・ 地域交流ルームにて、ボラえもん様の慰問がありました。



12月



- ・ 個性あふれる手作りツリーやサンタの飾り付けが施され、きれいなイルミネーションによって法寿苑全体がクリスマスモードに包まれています。
- ・ 23番館では漬物用に大きな大根を干しました。出来上がりが楽しみです。
- ・ 22番館ではクリスマスケーキをみんなで協力して作りました。苦労したかいもあり格別の味でした。
- ・ 各ユニットにて忘年会が行われました。サンドイッチパーティー・仮装パーティー・職員による演奏(サックス・カホン)・鍋パーティー・にぎり寿司とノンアルコールビール等で乾杯し盛り上がりました。

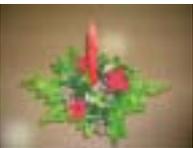
ユニットの自己紹介～今回は24番館です～



十月二十六日公測公園へ菊花店見学！



二十四番館では、利用者個々の特技、嗜好、生
活動作（残存能力）を生かし、手作りおやつや炊
飯、お抹茶会などのイベントを職員が積極的に企
画しています（スイートポテトボール・くるみ
餅・お好み焼き等）。女性陣は特に積極的に参加
され、作るものはいつも納得の出来栄です。
十二月には具材も全て利用者リクエストの鍋
を計画し、みんなで鍋を囲み会話も弾みながら食
しました。「毎日鍋でもいいかも」なんて声も聞
くことができ大成功でした。
また、季節感のある物を取り入れ、秋にはどん
ぐりを使ったネームプレートを作成したり、冬に
はゆず風呂を行いました。利用者家族との信頼関
係も厚く安心して毎日生活されています。定期的
に季節のお花を家族の方が持ってきてくださり、
リビングはいつも華やかです。



ホームヘルプサービス

ホームヘルパーがご自宅にお伺いし、身体面(入浴・オムツ交換)や生活面(掃除・洗濯・調理)等身の周りのお世話をいたします。

デイサービス

月曜日から土曜日(祝日も営業)デイサービスを開所しております。見学等も随時受け付けておりますのでお気軽にご相談ください。



介護老人支援センター

介護を必要とされる方、介護保険サービスのご相談が、住み慣れた自宅でのサービス計画(ケアプラン)心して生活していただけるよう作成をいたします。お手伝いいたします。

アクティビティで多くの作品を作っています。レクリエーションもパワー全開で利用者に毎日楽しく過ごしていただけるよう援助サービスを提供しています。



苦情受付状況

平成二十一年十月〜十二月

苦情 要望等のご意見がありましたら、各事業所の受付担当者(左記参照)までお電話でもお越しいただいても構いませんので、お気軽にご相談ください。

特別養護老人ホームショートステイ

駒井 伸行 8 3 2 5 5 0 0

デイサービスセンター

河野 敬三 8 3 2 5 6 8 0

老人介護支援センター

赤木 早苗 8 3 2 5 4 0 0

ホームヘルプサービス

堀 麗子 8 3 2 5 7 6 8

介護方法に関する内容	0件
職員の対応に関する内容	0件
施設の対応に関する内容	0件
利用者との人間関係に関する内容	0件
入居中の医療に関する内容	0件

日帰り旅行 三施設合同つどい事業
毎年恒例の行事として、在宅で介護をされている方を中心に、松山方面への日帰り旅行を企画し、十一月十日に福祉用具の工場見学を兼ねて行ってきました。

はじめに、愛媛県の福祉用具製造会社『いづら』を見学しました。普段自宅や施設で使われている福祉用具が作られている過程の説明を受けながら見学させていただきました。

工場見学の後には、ショールームで実際に商品を見て触れることも出来ました。福祉用具は手作りの部分が多く、大量生産が出来ない為、高めの値段設定になっているとの説明を受け、購入の値段を見てみなさんびっくりされていました。しかし、利用の際には負担を抑えるためにケアマネジャーに相談して、その方に合わせてレンタル等の活用もある事を説明すると皆さん納得されていました。

道後温泉『大和屋本館』にて昼食をとったあとは、道後温泉街を散策したり、お土産などの買い物を楽しまれました。参加者同士の親睦を深めることができ、和気あいあいとした楽しい旅行となりました。



「寄付・慰問」

あたたかい御厚情のお礼申し上げます 「平成二十一年十月～十二月」

順不同

《寄付物品》

高崎正峙様、松永様、天野キミ様、矢野勲様、古市征様、福井ミサヲ様、造田周一様、(有)山田石材様、楠ユキ子様、宮脇實様、大川朝夫様、中原健様、山下昇様、竜雲舜虹苑様、正岡英秋様、藤本様、十河様、十河雅典様、森田裕様、日下美千代様、河野和男様、梶木京子様、吉川清子様、藤野裕子様、村上静子様、佐藤恵一様、総本山 普通寺様、(有)完土様、藤川富恵様、西岡様、福井二郎様、山田米子様、滝川美子様、津田和美様、橋本由美様、出石ナミ様、岡本ユキエ様、水野直樹様、上柿敏代様、太田義道様、佐伯典子様、(有)国方呉服店様、宮井恵子様、上柿浩司様、中塚孝様、三角武様、柳原アサエ様、内海良夫様、佐藤ツタエ様、栄光寺池田宗弘様、加藤ヤス子様、山本登美子様、木村剛様、中川忠士様、(株)四国エア・ウォーター様、上原正明様、木村マスキ様、戸田令子様、平井貞子様、吉田博子様、斎藤令子様、松原様、木村ヨシエ様、江原一夫様、寺岡淳子様、森松様、和田孝雄様、刘恩登様、平野健治様、古田裕子様、(株)アールシーエス様

《寄付金》

高崎正峙様、富野義治様、木村保男様、佐々木哲夫様、荒井ツユコ様、木村明・寿満子様、萬生寺、高田隆寛様

《御慰問・御奉仕》

讃岐なかよし連様、ボラえもん様、古田裕子様、津田和美様、ゆり友の会様、フラグループ レイ・ナニ様、川西様、加藤様

個人情報保護の為、名称の公表を差し控えた方がおられましたら、お申し出下さい。

「防災訓練」

平成二十一年十一月十六日と十二月十六日に、当苑にて地震等の災害に伴う自主防災訓練を実施しました。

十一月十六日の訓練では、災害発生後の食事の確保という視点から、施設内に備蓄している燃料や食糧を使用して、屋外での炊き出しを行いました。



1月1日現在 特養の現状

	男性	女性	全体
入所者数(人)	11	39	50
平均介護度	3.55	3.62	3.60
平均年齢(歳)	82.4	86.0	85.2
最高齢(歳)	92	104	
最低齢(歳)	64	66	

《配食ボランティアさん募集》

法寿苑では、木太地区の高齢者を対象に手作りのお弁当(昼食)をお届けしています。つきましてはお弁当配達のご協力をお願いしています。ご協力していただける方は下記までご連絡ください。

(配達希望日時)

月～土曜日(祝日は除く)の11:45～12:30の間で配達可能な方

問い合わせ: 法寿苑老人介護支援センター TEL087-832-5400



特別養護老人ホーム 法寿苑

〒760-0080 高松市木太町7区3308番地

(代表) TEL: 087-832-5500

FAX: 087-832-5530

法寿苑デイサービスセンター

TEL: 087-832-5680

法寿苑老人介護支援センター

TEL: 087-832-5400

法寿苑ヘルパーステーション

TEL: 087-832-5768

ホームページ <http://www.kouzenkai.jp>

(弘善会ホームページよりお入りください)

E-mail houjyuen@kouzenkai.jp